園長先生の子育てひろば

令和３年８月

まねっこ

園長　山中　文

本園では、７月に夕涼み会を行いました。これは年長さんだけの催しで、保育後に一旦降園したあと、夕方にもう一度お家の方と集まって、竹打ちをしたり、盆踊りを踊ったり、花火をしたり（今年は残念ながら新型コロナウィルス感染症のため中止でした）と、親子で楽しむ行事です。

特に竹打ちは、下の写真のように「かっこいい」姿を見せるので、お家の方からたくさんのフラッシュを浴びるものになっています。この夕涼み会には年長さん親子しか集まりませんが、年長さんたちは、この雄姿を披露するため、７月になると、保育時間にコンコンカッカッと一生懸命練習します。年中さんや年少さんに見てもらったりもして、ちょっと得意になる機会でもあります。

こういうエネルギッシュな音やかけ声が年長さんから始まると、まねしないわけがありません。夕涼み会前後には、大人が何も言わなくても、年少さんも年中さんもきまって自ら竹を出してとせがみ、音楽に合わせて見様見真似で竹打ちが始まります。

下の写真は、夕涼み会が終わった後の年少クラスの遊びの様子です。年長さんの竹のように大きなものではなく細い竹ですし、バチもラップの芯ですが、とても真剣な竹打ちです。音楽やリズムに乗って、「ラッセーラッセーラッセーラ」や「やあ！」といった掛け声のタイミングやポーズが決まっています。模範を見せるべく年長さんも来てくれ、年少さんは、目から耳からしっかりまねっこできています。

学ぶことはまねることから始まるとはよく言われますが、この竹打ちなどもまさにそうですね。

園でもご家庭でも、子どもたちは、年上の人たちの所作や、文化、ルールなど、よく見ています。子どもたちが言われなくても自然に「あ、やってみたい」「やってみよう」と思えるような機会をつくっていきたいですね。